

## 「地域課題分野」(平成24年度採択)

### 事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
釧路川流域における湿原再生に向けた栄養塩循環評価手法に関する研究（研究期間：H24年～H26年）	北見工業大学 駒井 克昭	C
<b>&lt;研究概要&gt;</b> <p>釧路湿原は、近年、湿原面積が著しく減少し植生が急激に変化している。植生変化の要因としては土砂堆積や乾燥化等が河川管理上、物理的な制限因子として重要であるが、土地利用の高度化に伴った栄養塩負荷の増加による影響は明らかでない。本研究では湿原の周辺流域における栄養塩循環の定量評価に向けて、植生生長に及ぼす栄養塩の影響評価と土地利用や植生分布等を考慮するのに有利な分布型流出モデルをベースとした栄養塩輸送モデルを構築した。</p>		
<b>&lt;事後評価コメント&gt;</b> <p>栄養塩輸送モデルの構築による栄養塩の集積域の解析については、一定の研究成果があったと言える。</p> <p>しかしながら、ハンノキ群落の位置とT-N集積場所の一致の関係性については、窒素安定同位体の測定などにより確認することが必要であったと考えられる。また、栄養塩輸送には土砂動態の影響が大きいと考えられるため、浮遊物質の粒径等も考慮することが必要であったと考えられる。</p> <p>今後は、本研究の目的を十分に達成するため、上記に加え、想定している物質循環のメカニズムの再点検を行い、研究を継続されたい。</p>		

#### ※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い